

## 明石市立文化博物館の管理運営状況(2018 年度) について

2007 年 4 月から指定管理者制度を導入した文化博物館について、2018 年度における指定管理者による管理運営状況を報告します。

### 1 指定管理者

(1)指定管理者	小学館集英社プロダクション・鹿島建物共同事業体
(2)指定期間	2016 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日
(3)指定管理料	協定締結額 138,876 千円 決算見込額 137,831 千円 (2017 年度 協定締結額 140,500 千円 決算額 140,192 千円)
(4)管理体制	・館長 1 人 ・事務局長 1 人 ・総務課責任者 1 人 ・職員 7 人 ・合計 10 人

### 2 評価項目

(1) 顧客満足度について				
①アンケート調査等の実施状況	＜来館者アンケート（4 月～3 月実施）＞			
	① 特別展満足度			
	展覧会名	春季特別展 「誕生 50 周年記念リカちゃん展」	夏季特別展 「特撮の DNA 展 ー平成に受け継がれた特撮“匠の夢”ー」	新春特別展 「大正浪漫 グラフィック デザイナーの 原点 竹久夢 二展」
	回答数	2,174	3,350	1,700
	満足	1,404	2,092	1,160
	やや満足	443	831	360
	普通	242	324	148
	不満足	43	73	12
	無回答	42	30	20



所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"><li>・前年度に比べ特に特別展でのアンケート回答数が大幅に増え、満足度の高さが目立つ（85%以上の来館者が満足と答えている）。また、企画展、貸館利用、職員対応についても来館者の満足度の高さが伺える。</li><li>・アンケート等から聴取した来館者の意見への迅速かつ的確な対応から、市民目線に立った管理運営業務への取り組みが感じられる。</li><li>・2 箇年にわたり施設改善金にて対応した館内女性用トイレの洋式化により、女性用トイレの混雑解消に繋がった。</li><li>・職員の来館者対応の満足度が高く、実際に季節や来館者に応じた対応を目にすることが多い。</li></ul>																
(2) 事業達成度について																	
①事業・業務の実施状況	<p>&lt;運営業務&gt;</p> <p>開館日 332 日（2017 年度 331 日）</p> <table><tr><td colspan="2">前年度に引き続き開館時間を延長（通常 18 時 30 分まで）</td></tr><tr><td colspan="2">特別展:126 日間、企画展:137 日間、常設展:69 日間</td></tr><tr><td colspan="2">休館日の月曜日が祝日・休日の場合は開館</td></tr><tr><td colspan="2">特別展及び「くらしのうつりかわり展」期間中、通常休館日の月曜日を開館</td></tr><tr><td colspan="2">館内燻蒸作業による臨時休館日2日</td></tr><tr><td colspan="2">観覧料無料日の設定:4 日間</td></tr><tr><td colspan="2">時の記念日:6 月 10 日(日)、開館記念:10 月 14 日(日)、関西文化の日:11 月 23 日(金・祝)、24 日(土)</td></tr><tr><td colspan="2">地域連携事業の一環として明石公園で開催される事業に合わせて観覧料の割引</td></tr></table>	前年度に引き続き開館時間を延長（通常 18 時 30 分まで）		特別展:126 日間、企画展:137 日間、常設展:69 日間		休館日の月曜日が祝日・休日の場合は開館		特別展及び「くらしのうつりかわり展」期間中、通常休館日の月曜日を開館		館内燻蒸作業による臨時休館日2日		観覧料無料日の設定:4 日間		時の記念日:6 月 10 日(日)、開館記念:10 月 14 日(日)、関西文化の日:11 月 23 日(金・祝)、24 日(土)		地域連携事業の一環として明石公園で開催される事業に合わせて観覧料の割引	
	前年度に引き続き開館時間を延長（通常 18 時 30 分まで）																
	特別展:126 日間、企画展:137 日間、常設展:69 日間																
	休館日の月曜日が祝日・休日の場合は開館																
	特別展及び「くらしのうつりかわり展」期間中、通常休館日の月曜日を開館																
	館内燻蒸作業による臨時休館日2日																
	観覧料無料日の設定:4 日間																
	時の記念日:6 月 10 日(日)、開館記念:10 月 14 日(日)、関西文化の日:11 月 23 日(金・祝)、24 日(土)																
	地域連携事業の一環として明石公園で開催される事業に合わせて観覧料の割引																
	<p>&lt;維持管理業務&gt;</p> <table><tr><td colspan="2">専門的視点による日常管理や清掃、毎月の法令点検等の実施</td></tr><tr><td colspan="2">空調機加湿器更新に係る付随工事、施設躯体壁面クラック補修工事、レストラン棟照明器具取替作業、台風被害による屋上屋根カバー補修工事、屋上屋根避雷針誘導帯補修工事等、合計 25 件実施</td></tr></table>	専門的視点による日常管理や清掃、毎月の法令点検等の実施		空調機加湿器更新に係る付随工事、施設躯体壁面クラック補修工事、レストラン棟照明器具取替作業、台風被害による屋上屋根カバー補修工事、屋上屋根避雷針誘導帯補修工事等、合計 25 件実施													
専門的視点による日常管理や清掃、毎月の法令点検等の実施																	
空調機加湿器更新に係る付随工事、施設躯体壁面クラック補修工事、レストラン棟照明器具取替作業、台風被害による屋上屋根カバー補修工事、屋上屋根避雷針誘導帯補修工事等、合計 25 件実施																	
<p>&lt;自主事業&gt;</p> <table><tr><td colspan="2">特別展 3 回、企画展 4 回の計 7 展覧会を実施 (2017 年度実績 特別展 3 回、企画展 4 回、計 7 展覧会)</td></tr><tr><td rowspan="3">特別展</td><td>「誕生 50 周年記念 リカちゃん展」 4 月 7 日(土)～5 月 20 日(日) 総観覧者数 21,849 人</td></tr><tr><td>「特撮の DNA 展 ー平成に受け継がれた特撮“匠の夢”ー」 7 月 14 日(土)～9 月 2 日(日) 総観覧者数 25,770 人</td></tr><tr><td>「大正浪漫 グラフィックデザイナーの原点 竹久夢二展」 1 月 4 日(土)～2 月 3 日(日) 総観覧者数 13,055 人</td></tr></table>	特別展 3 回、企画展 4 回の計 7 展覧会を実施 (2017 年度実績 特別展 3 回、企画展 4 回、計 7 展覧会)		特別展	「誕生 50 周年記念 リカちゃん展」 4 月 7 日(土)～5 月 20 日(日) 総観覧者数 21,849 人	「特撮の DNA 展 ー平成に受け継がれた特撮“匠の夢”ー」 7 月 14 日(土)～9 月 2 日(日) 総観覧者数 25,770 人	「大正浪漫 グラフィックデザイナーの原点 竹久夢二展」 1 月 4 日(土)～2 月 3 日(日) 総観覧者数 13,055 人											
特別展 3 回、企画展 4 回の計 7 展覧会を実施 (2017 年度実績 特別展 3 回、企画展 4 回、計 7 展覧会)																	
特別展	「誕生 50 周年記念 リカちゃん展」 4 月 7 日(土)～5 月 20 日(日) 総観覧者数 21,849 人																
	「特撮の DNA 展 ー平成に受け継がれた特撮“匠の夢”ー」 7 月 14 日(土)～9 月 2 日(日) 総観覧者数 25,770 人																
	「大正浪漫 グラフィックデザイナーの原点 竹久夢二展」 1 月 4 日(土)～2 月 3 日(日) 総観覧者数 13,055 人																

①事業・業務の  
実施状況

企画展	郷土作家シリーズ 「佐々木猛作品展ー遊び心と 土と 筆ー」 6月2日(土)～7月1日(日) 総観覧者数 2,528 人
	「明石藩の世界Ⅵー藩領を行き交う人とモノー」 9月15日(土)～10月21日(日)総観覧者数 2,472 人
	「発掘された明石の歴史展 明石の近世Ⅱー出土品が語る城下のくらしー」 11月3日(土・祝)～12月9日(日)総観覧者数 2,722 人
	「くらしのうつりかわり展 これ何でできているの?ー素材と技ー」 2月10日(日)～3月24日(日)総観覧者数 12,161 人

- ・シンポジウム・講演会・トークショー  
開催回数:8回、参加者 338 人
- ・展示解説・ギャラリートーク  
開催回数:20回、参加者 646 人
- ・ワークショップ  
開催回数:8回、参加者 161 人  
会期を通しての開催:2回、作品数 2,866 点(ぬり絵)
- ・ロビーコンサート  
開催回数:2回、参加者 185 人
- ・その他のイベント  
開催回数:8回、参加者 452 人  
(くらしのうつりかわり展でのベーゴマ、紙芝居)  
会期を通しての開催:1回、参加者 80 人(クイズラリー)
- ・その他展覧会関連の活動  
特別展、企画展に関連する収蔵品を常設展示コーナーへ展示した。
- ・JR 西日本ちょこっと関西歴史旅 特別企画 明石城「明石城関連資料特別公開」  
1月12日(土)～3月22日(金) 期間中総観覧者数 23,287 人
- ・ボランティア活動(年間活動日数 141 日、活動人数延べ 679 人)  
内、着付(29 日、参加者 54 人)、ワークショップ(16 日、参加者 99 人)
- ・第2回あかし若手アートチャレンジ 9月30日(日)～10月14日(日)  
参加校 5 校、出品作品 59 点、総観覧者数 626 人
- ・ぶんぱく博物館文化講座 10月6日(土)～10月21日(日)  
13 講座開講 参加者 231 人
- ・出前講座 (3 回、参加者 103 人)
- ・小学館おはなし玉手箱 よみきかせキャラバン (参加者 124 人)
- ・ぶんぱく ゆめナリエ 12月1日(土)～12月24日(月・祝)  
お願いごとメッセージ 191 枚  
ぶんぱくサンタ良い子証明書 66 枚  
市民ミュージカル あかし DE ミュージカル 3rd「夏の夜のアリスたち」  
観覧者数 108 人
- 明石市立明石幼稚園児による歌とマジックショー 観覧者数 69 人

①事業・業務の実施状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 30 年度 明石の秋祭写真コンテスト 1 月 4 日(金)～1 月 14 日(月) 応募作品 51 点</li><li>・トライやる・ウィークの生徒受入れ 明石市内中学校 6 人、神戸市内中学校 6 人の計 2 回</li><li>・博物館実習の学生受入れ(10 人)</li><li>・ミュージアムエデュケーション研究会への参加</li><li>・東播磨地域ビジョン委員会主催東播磨文化施設ネットワーク化事業への参画</li><li>・明石文化芸術創生財団連携 展示講座「作品の魅力を高める展示方法」 2 月 23 日(土) 参加者数 24 人</li><li>・博物館ニュースの発行(2 回)</li><li>・博物館だよりの発行(20 号、No.515～No.534)</li></ul> <p>&lt;その他業務&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・広報、宣伝業務 文化博物館ホームページの SSL 化 メディア利用(492 件)</li><li>・明石市幼稚園・小学校・中学校校園長会への参加</li><li>・利便施設(レストラン、清涼飲料水自動販売機)の運営</li></ul>												
②施設等の利用状況	<p>&lt;観覧者数&gt;</p> <p>83,338 人 (2017 年度 65,161 人)</p> <p>※ 貸館入場者数は含まず</p> <p>&lt;ギャラリー・大会議室の利用状況&gt;</p> <table><tr><td></td><td>入場者数 (自主事業観覧者は含まず)</td><td>稼働率</td><td>貸館利用件数</td></tr><tr><td>ギャラリー</td><td>27,087 人 (目標 25,000 人) (前年度 22,647 人)</td><td>92.9% (目標 95.3%) (前年度 85.9%)</td><td>30 件 (前年度 30 件)</td></tr><tr><td>大会議室</td><td>7,714 人 (目標 6,100 人) (前年度 4,997 人)</td><td>66.5% (目標 67.0%) (前年度 61.8%)</td><td>36 件 (前年度 40 件)</td></tr></table>		入場者数 (自主事業観覧者は含まず)	稼働率	貸館利用件数	ギャラリー	27,087 人 (目標 25,000 人) (前年度 22,647 人)	92.9% (目標 95.3%) (前年度 85.9%)	30 件 (前年度 30 件)	大会議室	7,714 人 (目標 6,100 人) (前年度 4,997 人)	66.5% (目標 67.0%) (前年度 61.8%)	36 件 (前年度 40 件)
	入場者数 (自主事業観覧者は含まず)	稼働率	貸館利用件数										
ギャラリー	27,087 人 (目標 25,000 人) (前年度 22,647 人)	92.9% (目標 95.3%) (前年度 85.9%)	30 件 (前年度 30 件)										
大会議室	7,714 人 (目標 6,100 人) (前年度 4,997 人)	66.5% (目標 67.0%) (前年度 61.8%)	36 件 (前年度 40 件)										
所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"><li>・「市民に愛される施設」「市民に身近な施設」となりえるために、年間を通して、学校園への情報提供をはじめ、自治会など地域への呼びかけ、出前講座などのアウトリーチや講座開催を積極的に実施している。</li><li>・これまで文化博物館に足を運んでいない層の来館を見込んだ特別展を開催し、結果として春季特別展「誕生 50 周年記念 リカちゃん展」では家族連れ、夏季特別展「特撮の DNA 展ー平成に受け継がれた特撮“匠の夢”ー」では男性層の来館が増えた。</li><li>・特別展がメディアに取り上げられる機会が増え、情報が拡散するとともに、「行きたくなる」展覧会を開催している博物館との認知がされ始めている。</li><li>・第 2 回「あかし若手アートチャレンジ」では芸術を志す大学生・高校生を対象に本格的な展覧会の準備から実施までを体験する場を提供し、官学連携及びこれからの芸術文化活動のモデルともなりうる。</li></ul>												

(3)事業収支について		
①収支状況	＜収支状況＞	
	収入総額	186,603 千円 指定管理料 138,876 千円、観覧料 26,713 千円、使用料 3,352 千円、その他 17,662 千円
	支出総額	160,914 千円 人件費 39,778 千円、事務費 3,262 千円、管理費 52,685 千円、物件費 2,158 千円、負担金 50 千円、事業費 47,601 千円、精算返戻金 1,045 千円、その他 14,335 千円
	収 支	25,689 千円 (前年度 5,556 千円)
②使用料等の収入状況	使用料・観覧料収入 30,064 千円 (前年度 16,326 千円)	
所管課コメント	<p>・収支状況については、適宜事前相談があり、適切に処理されている。本年度は観覧料(13,446 千円→26,712 千円)、使用料収入(2,916 千円→3,352 千円)及びその他収入に含まれる物販収入の伸びが顕著であり、この流れが続くことが望まれる。</p>	

### 3 その他評価の参考となる特記事項

- ・これまで文化博物館に足を運んでいない層の来館を見込んだ特別展を開催し、結果として春季特別展では家族連れ、夏季特別展では男性層の来館が増えた。
- ・積極的なメディア等への発信により、マスコミ媒体等で取り上げられる機会が増え、来館者数の増につながった。
- ・若年層への周知を図るため、昨年度に引き続き「あかし若手アートチャレンジ」を開催した。
- ・JR 西日本特別企画に関係するイベント事業への協力・参画、特別展示等により、市民へ明石の歴史・文化への興味関心を引き起こした。
- ・明石公園での開催イベントや私鉄主催のウォーキングイベントなどに協力し、参加者に対する施設知名度の向上を積極的に図っている。
- ・「東播磨文化施設ネットワーク化構想」「ミュージアムエデュケーション研究会」に参加し、東播磨地区及び阪神間の文化施設・団体と交流を構築し、横の繋がりの強化に努めている。
- ・年間を通じて「博物館通信『ぞうじるし』」を 175 号、「文化博物館『一日一報』速報」を 62 号発行し、日々職員の資質の向上と情報の共有化を図っている。

#### 4 所管課総合評価

利用者アンケートの顧客満足度で概ね高い評価を得ており、事業達成度でも観覧者数が前年度を大きく上回るなど、概ね事業計画どおり適正に実施されている。特に、観覧者数の大幅増とそれに伴う使用料・観覧料収入の増は評価に値する。

2018 年度入館者数 83,338 人(2017 年度 65,161 人、前年度比 127.9%)

2018 年度観覧料・使用料収入 30,064,277 円(2017 年度 16,361,783 円、前年度比 183.7%)

展覧会関連活動での「第 2 回あかし若手アートチャレンジ」「ぶんぱく ゆめナリエ」における教育機関等との連携、「出前講座」「文化講座」等での市民の学びの場の提供等、文化博物館への来館の敷居を低くする取り組みを継続し、それらが観覧者数の増につながっていると考えられる。

一時的に人員体制に欠員を生じ、その後補充したが、人員確保については今後の課題と考えられる。

以上のことから 2018 年度における指定管理者による管理運営については、適切に行われている。

指定管理期間 3 年目の本年は、過去 2 年間の活動をより充実・発展させるため、「志は高く、敷居は低く」をスローガンに、市民の立場で考える博物館を目指した運営を行ったが、今後も継続して市民の立場に立って訪れたい博物館の運営継続を求める。